



いちにの! さんだりハ!



厳しい暑さの続く季節となりました。
未だ新型コロナウイルス感染症が落ち着かない状況ではありますが、
さんだりハビリテーション病院は、
今年で開院5周年を迎えることができました。

2016年の開院以来、地域の秋祭りへの参加やトライやるウィークなど、
地域の皆様方との交流により当院を知っていただく機会も増えてきています。

また、昨年秋にリハビリ専門医が1名加わり、三田市内唯一のリハビリ病院として、
今まで以上に質の高い医療の提供を目指しています。

患者様に安心してリハビリに取り組んでいただけるよう、
気を緩める事なく感染対策を徹底してまいりますので、
皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



熱中症を防ぐために



「熱中症」夏になるとよく耳にする言葉ですが、マスクの着用がこれに繋がることをご存知ですか？

熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、
体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。
屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては命を落としてしまう
こともあります。

飛沫拡散を防ぐマスクは、心拍数・呼吸数・血中二酸化炭素濃度・体感温度を上昇させるなど身体に
負担をかける場合があります。そのため、夏場の着用は、熱中症を招く可能性が高まります。
そこで、感染対策と熱中症予防の両立に有効な方法をご紹介します。

- ①暑さや息苦しさを感じたら、人と十分な距離を保ち、マスクを外して熱を逃がす。
- ②着用中の激しい運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給を心がける。



日頃から暑さに備えた身体作りを意識し、体調管理に気を付けて健康的な夏を過ごしましょう。





自宅退院への取り組み



現在、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、ご家族様に入院中の患者様の様子をご覧いただく機会が限られています。
また、ご自宅での動作確認・指導・環境調整の提案も困難となりました。

そこで、ご自宅への退院に向け、患者様のリハビリの様子を撮影し、ご家族様へ随時ご報告しています。
その上で、住み慣れた元の環境でも安全に過ごせるよう、動作能力に合わせた自宅改修等の検討・整備を進めます。

更に退院後、職員がご自宅へ伺う「訪問リハビリテーション」の利用案内も行っています。



リハビリの様子を撮影



ご家族様への報告



訪問リハビリ職員

当院では、訪問リハビリ職員と院内職員との連携を密に図っており、入院中の不足部分を補ったり、家屋環境の微調整を行ったりすることが可能です。

患者様だけでなく、ご家族様にもより安心していただくため、でき得る限りのご支援をいたします。

お問い合わせ先



医療法人社団 和教会 さんだりハビリテーション病院

〒669-1547 三田市富士が丘5丁目16-1

代表 TEL(079)564-7063 FAX(079)564-7064

地域連携室 TEL(079)564-7010 FAX(079)564-7011

<http://www.sandareha-hp.jp/>

編集後記

新しい形での開催となったオリ・パラリンピックでは、各国のトップアスリート達による熱戦が繰り広げられ、世界中に感動をもたらしていますね。

その熱気と同様に、猛暑日が連日続いています。今年も熱中症予防を踏まえた感染対策が必要ですので、体調に充分ご注意ください。ご自身は言うまでもなく、周囲の方々ともお互いに声を掛け合い、ご留意いただけたらと思います。

皆様の今夏の思い出が、一つでも多く心に残るものでありますように。

